

# 目次

- P. 2 \_ はじめに
- P. 3 \_ I 香川MICEモデルの意義
- P. 4 \_ II 基本的な感染症対策
- P. 5 \_ III MICE における感染リスク
- P. 7 \_IV 会期前の事前対策
- P.10 \_ V 会期中の実施事項
- P.14 \_VI 会期後の対応
- P.15 \_VI 様式集
- P.16 \_/ デジタル × 香川県
- P.17 \_IX 県内MICE関連施設の感染症対策
- P.20 \_X 県内で開催された感染症対策を徹底した会議等事例紹介
- P.21 \_XI SDGs × 感染症対策
- P.22 \_さいごに



# はじめに



香川県MICE誘致推進協議会 会長 はまだしけいぞう 浜田 恵造 香川県知事

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、香川県をはじめ、国内外で多くのMICEが大きな影響を受けており、中止、延期を余儀なくされているほか、会議のライブ配信や、現地参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッド形式など、開催形態も大きく変化してきています。

一方で、人と人とが直接交流する場であるMICEの開催は、 ビジネス機会やイノベーションの創出を図るうえで、重要であると考えています。

本ガイドラインは、主催者やご参加の皆様が、安心して安全に香川県でMICEを開催できるよう、国が示している業種別ガイドラインに基づきながら、感染症の専門家の方に監修いただき策定いたしました。

主催者の皆様には、本ガイドラインを参考に、万全の感染症対策を講じていただき、瀬戸内海やアート、豊かな自然に育まれた食文化など、魅力あふれる香川で、MICEを開催していただけることを期待しています。

# 監修



監修者 かどわき のりみつ 門脇 則光

香川大学 医学部附属病院長 感染制御部 部長 医学部 血液·免疫·呼吸器内科学 教授 新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、多くの会合がオンラインで行われていますが、それでは目的を達成できない会合も数多くあります。また、情報や気持ちを十分に伝えるには対面に勝るものはありません。したがって、コロナ禍にあっても、適切な感染症対策を施したうえで現地交流を図る積極的な取り組みが求められます。

飛沫感染・接触感染を防ぐ基本的な方法は確立しています。 参加者がワクチンを接種し事前の自己管理を十分に行ったう えで、そうした感染症対策の基本をしっかり押さえて会合を 開催すれば、感染を防ぐことは十分可能です。

本ガイドラインでは、コロナ禍での安全・安心なMICE開催に向けた香川県の取り組みをご紹介しています。主催者の皆様には本ガイドラインを、利便性が高く風光明媚な香川県でのMICE開催の一助にしていただければ幸いです。

# 香川MICEモデルの意義

# ニューノーマル時代における香川県での MICE 開催

新型コロナウイルス感染の世界的な拡大により、多くのMICEが中止・延期を余儀なくされ、MICE業界は大きな影響を受け ました。この長期に及ぶWithコロナ期において、会議のライブ配信や、現地参加とオンライン参加を組み合わせたハイブリッ ド形式など、新たな開催の形が模索される等、MICE開催において求められる要素は急速に変容しています。

#### ● イベントの主な開催形態とメリット・デメリット

	現地開催	オンライン開催	ハイブリッド開催
利便性	★ オンラインに比べると、時間・場所が限られる	時間・場所の選択肢が多い	参加者のニーズに合わせ、現地参加とオンライン参加が自由に選択できる
交流の機会	対面での懇親会や商談等が可能。 空き時間を利用した交流機会も作 りやすい	▲ 懇親・交流の手段が限られる。セッションでの議論はチャット機能などで対応する必要がある	現地参加した人は懇親会等で交流 を深めやすい。 オンライン参加し た人はチャット等を使用する
開催コスト	従来の開催コストで開催可能	会場費や設営費は最小限または不要だが、サーバーやシステム・機材費がかかる	▲ 現地とオンラインの同時開催となるため、コストはやや上昇する

たとえば、サーモグラフィーなど非接触型のICTを活用したデジタルの取り組みは、安心して会議や学術集会に参加するうえ で重視されることが想定されます。またSDGsへの取り組みが、Withコロナ期に加速度的に重視されるようになったように、 MICE開催においても同様に、都市の「サステナビリティ」の価値提唱が、ニューノーマル時代の開催地として注目されます。

香川県は、「世界の宝石」と称される瀬戸内海に面したサンポート地区周辺に、コンベンション施設や宿泊施設、飲食施設が集 積している利便性の高い都市です。また、「瀬戸内国際芸術祭」をはじめ特色あるアートや、讃岐うどん、瀬戸内海の新鮮な 海の幸など豊かな食文化を楽しんでいただけます。 更に、2016年「G7香川・高松情報通信大臣会合」に代表されるように 政府系国際会議の開催実績を有するなど、開催地としての強みを有します。 また、2021年にはデジタル化推進戦略骨子案 を発表しており、新しいMICEのトレンドを発信していこうとしています。

本ガイドラインでは、皆様に安心安全に香川県でMICEを開催いただけるように、現地開催における新型コロナウイルスの感 染リスクを洗い出し、徹底すべき対策を紹介しています。加えて、デジタル、SDGsや地域の特性を活かした香川県らしい感 染症対策の取り組みを記載しております。 本ガイドラインを参考に、コロナ禍においても安心で先進的な MICE を開催いただ ければ幸いです。

# 香川県での MICE 開催支援

香川県と高松観光コンベンション・ビューローは、MICEを開催する皆様に充実した補助金制度を用意しています。

香川県コンベンション誘致対策事業補助金(香川県)



公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー感染症予防対策支援助成金(公財高松観光コンベンション・ビューロー)

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローハイブリッド会議開催支援助成金(公財高松観光コンベンション・ビューロー)

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー全国大会等開催補助金(公財高松観光コンベンション・ビューロー) 🜓

# Ⅱ 基本的な感染症対策

## 新型コロナウイルスの感染経路

### 飛沫感染

感染者の会話、咳やくしゃみによる飛沫 (つばなど) はウイルスを含みます。 そのウイルスを周りの人が口や鼻から吸い込むことで感染します。

### 接触感染

感染者の飛沫がついた手指で触れた物にはウイルスが付着しています。 病原体が付着した物に感染していない人が接触することは、間接的な感染につながります。

### 新型コロナウイルスの一般的な対策

### 正しい手洗い

- 1 石鹸を泡立てて手のひら同士をこすり合わせる
- 2 両手の甲をこする
- 3 指のすき間を洗う
- 4 親指と手のひらをねじり洗いする
- **⑤** 反対側の手のひらとこすり合わせて、指先・爪の間を洗う
- 6 手首を洗う

# 正しい咳エチケット

- 1 マスクを着用する
- 2 ハンカチやティッシュで鼻・口を覆う
- 3 上着の内側などで鼻・口を覆う

# -

#### 正しいマスクの着用

- 自分の顔にあったサイズを着用する
- 2 隙間を埋める
- 3 鼻やあごを出さない
- 4 ひもをもって取りはずす



# ワクチン接種

新型コロナワクチンは発症を防ぐ効果が認められています。

ワクチン接種をすることで、行動制限の緩和および現地開催の増加が期待されます。

P① NT 2回の接種で95%の有効性で発熱などの感染症の症状を防ぐ効果が認められています。



# Ⅲ MICEにおける感染リスク

MICEの開催にあたっては、その性質上多くの参加者や運営スタッフを一定の空間に集めることから、感染リスクに応じた対策の検討・実施が求められます。

# 3つの密

# **3Cs**(3つの密)

losed spaces 換気の悪い密閉空間

**rowded places** 多くの人が**密集**する場所

lose - contact settings 飛沫感染につながる密接場面

以上の3つの条件が存在する場 (3 密) では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。 MICEの開催において、3 密の発生を回避し、ソーシャルディスタンスとしてできるかぎり2 m (最低1 m) を確保するための対策を講じることが不可欠です。

## 感染経路と要因

MICE施設内の換気の状況を把握するとともに、ソーシャルディスタンスを確保することは感染症対策として必須です。加えて、参加者と講演者、主催者と出展者・運営スタッフなどが現地会場で対面コミュニケーションを図る場合、発声や会話による感染リスクにも注意が必要です。そのため空気中の飛沫粒子によるエアロゾル感染 (マイクロ飛沫感染) 抑制に有効なマスクの着用は重要です。また他者と共有する物品やドア等、手が触れる頻度が高いところを特定し、感染症対策を実施します。

### 飛沫による感染リスク

#### ● 感染リスクのある場所

共有スペース 特定多数の参加者による混雑時のソーシャルディスタンス 受付・クローク 待機列の行列、参加者と運営スタッフの距離など セッション (講演) 会場 入・退場時の行列、参加者の座席配置、講演者同士の距離、参加者と講演者の距離、換気の状況など 展示会場 商談時やブース内での説明時の参加者と出展者の距離、ブース配置、通路幅など パーティ・レセプション会場 机の配置、席次、アトラクション内容など大声を出す場面、立食形式の場合の参加者同士の距離、換気の状況など

### 接触による感染リスク

#### ● 感染リスクのある場所

共有スペース	机、椅子、エレベーターのボタン、エスカレーターのベルト、トイレ、手すりなど
受付・クローク	現金、クレジットカード、ネームカード、コングレスバッグ、プログラムなどの配布資料、荷物 、クローク札など
セッション (講演) 会場	ドア、机、椅子、マイク、同時通訳レシーバー、共有のPC、演台など
展示会場	展示ブース、展示物、出展者からの配布資料、名刺など
パーティ・レセプション会場	ドア、机、椅子、食器、グラス、トングなど

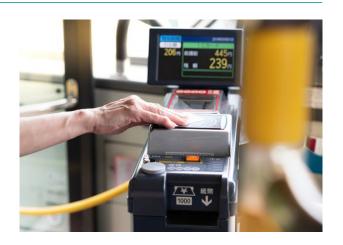
# Ⅲ MICEにおける感染リスク

# 他都市からの移動・宿泊

国内外から参加者を集めるMICE開催にあたっては、交通機関や宿泊施設等、広範囲に及ぶ感染症対策が必要となります。 飛行機・電車・バス・フェリーなどの交通機関、宿泊施設や飲食店を安心してご利用いただけるよう、以下のような個人で 行うことのできる対策を紹介します。

### 交通機関

- ▶ マスクの着用
- ▶ アルコール消毒液などでの消毒
- ▶ 会話を控える
- ▶ 混雑を避けた時間帯・車両の利用
- ▶ キャッシュレス決済やICカードの利用
- ▶ 待合所や切符売り場での3密回避



### 宿泊施設

- ▶ サーモグラフィーでの体温確認
- ▶ アルコール消毒液などでの消毒
- ▶ 定期的な換気
- ▶ 手洗い・うがい
- ▶ 混雑時の食事会場の回避



### 飲食店

- ▶ 飲食時を除いた常時マスクの着用
- ▶ 会話を控える
- ▶ 大人数での会食や飲み会の回避
- ▶ 電子マネー等の非接触型決済の利用
- ▶ 手洗いまたは手指消毒



# IV 会期前の事前対策

# 開催方針の策定

政府および地方自治体からの警戒レベルや指針などの最新情報を確認のうえ、主催者としての開催方針を策定します。

参考 一般社団法人日本コンベンション協会 『新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン (以降、JCMA ガイドライン) 』 Ⅲ.1.-1

### 運営関係者内での役割分担の明確化【主催者・運営関係者・施設関係者】

▶ MICEの開催を支える運営事業者や団体は多岐にわたります。主催者、運営事業者 (PCO)、開催施設等の責任者を 決定のうえ、役割分担・責任範囲を策定し、関係者間で共有します。

参考 JCMA ガイドラインIII.参加者の安全対策、IV.運営関係者の安全、V.開催施設への依頼事項

### 意思決定ポイント【主催者・運営関係者】

- ▶ 中止や延期、開催形態の変更を判断する基準・手順のほか、意思決定の期日を事前に策定します。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症による参加者のキャンセル・返金対応について規定します。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.1.-1 [感染症対策における関係者間での方針策定](2)、(7)~(9)

### 有事対応への備え【主催者・運営関係者】

- ▶ 感染者の発生時等にすみやかな連絡が行われるよう、運営関係者・出展者・参加者の連絡先を集約します。また、会場の管轄保健所や医療機関を把握します。
- 参考 JCMA ガイドラインⅢ.1.-1 [感染症対策における関係者間での方針策定](6)、(10)、(11)

参考 JCCB ガイドライン5. (2) ② 1) 開催前

### 参加者への対応【主催者・運営関係者】

- ▶ 現地参加者のオンライン参加登録を推奨するなど、感染発生時の追跡が可能な体制の構築を検討します。あわせて、 オンライン登録のわかりやすい案内方法の検討も行います。
- ▶ 出展者を含む全参加者に、健康チェックシートの提出を奨励します。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.1.-1 [感染症対策における関係者間での方針策定](4)、(5)

### 運営関係者への事前説明【主催者】

▶ オリエンテーションを通じ、すべての関係者に感染防止対策 (マスクの着用、こまめな手洗い、手指消毒等) について説明します。

参考 JCMAガイドラインIV.[運営関係者の安全](1)

# IV 会期前の事前対策

# パブリックアナウンスメント

開催にあたり、参加者や開催地等に対し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための各種取り組みについてホームページ等を通じた情報発信を行い、開催への理解を促進し、参加への不安を軽減します。あわせて、参加者・出展者・メディアに対し、政府や自治体の最新情報や来場自粛の基準等を示し、具体的な協力・依頼事項の発信を行います。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.1.-2 [パブリックアナウンスメント]

### 基本的な感染症対策の周知【主催者・運営関係者】

- ▶「ソーシャルディスタンスの確保」「マスクの着用」「手洗い」「咳エチケット」など基本的な感染症対策について、主催者・ 運営関係者の実施徹底と、参加者への実施協力を要請します。
- ▶ 会期前・会期中・会期後のそれぞれについて、感染拡大防止対策実施への参加者の協力依頼と理解促進のために、 具体的な注意喚起を行います。
- ▶ 業種別ガイドラインに従った取り組みを行う旨をホームページ等で公表します。

参考 JCMA ガイドラインII.1.-2 [パブリックアナウンスメント] (1) (3) (4) (8) (9)

### 事前参加登録等の実施【主催者・参加者】

- ▶ 参加者の事前参加登録により、主催者からの重要連絡等の一斉メール送付等、情報提供がより確実となります。この ほか、会場の3密の事前回避等、リスクを未然に防ぐ運営計画策定においても非常に重要です。主催者は、参加者の 事前参加登録を促進します。
- ▶ 主催者は参加者に対し、感染者発生時等の有事において、保健所等公的機関に参加者情報が提供される可能性があることを事前に周知し、適切な情報管理を実施します。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.1.-2 [パブリックアナウンスメント] (6)、Ⅲ. [参加登録受付].2.-1 (6)

### COCOA活用の周知【主催者・運営関係者・施設関係者・出展者・参加者】

▶ 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) の活用について周知します。





参考 JCMA ガイドラインⅢ.1.-2 [パブリックアナウンスメント](5)

# IV 会期前の事前対策

# イベント等の開催に係る留意事項【主催者】

#### イベント等の開催制限

	収容率	人数上限
大声なし	100%以内 **1	5,000人または収容定員50%以内の
大声あり	50%以内 **2	いずれか大きい方

- ※1 収容定員が設定されていない場合は、人と人とが触れ合わない程度の間隔を空ける。
- ※2 収容定員が設定されていない場合は、十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)を空ける。
- ▶ 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度としてください。
- ▶ 緊急事態宣言等の発令時には異なる取り扱いとなる場合がありますので、開催にあたっては、香川県のホームページ等をご参照ください。

### チェックリストの作成・公表

- ▶ イベント主催者等は、イベントを開催しようとする場合、感染防止策等を記載した「チェックリスト」を作成し、ホームページ等で公表してください。
  - [別紙1]イベント開催時のチェックリスト・感染防止策チェックリスト
  - [別紙4]イベント開催等における必要な感染防止策 🔷
- ▶ 県にチェックリストを提出する必要はありませんが、イベント終了日から1年間保管してください。
- ▶ 感染防止安全計画を策定する場合は、チェックリストを作成する必要はありません。

#### 感染防止安全計画の策定・提出

- ▶ 人数上限を緩和して、大声なしの5,000人超かつ収容率50%超のイベントを開催する場合は、「感染防止安全計画」 を策定し、4週間前までに県に提出して確認を受けてください。確認を受けた場合、人数上限は収容定員まで、収容 率の上限を100%とします。
  - [別紙2]感染防止安全計画
  - [別紙4]イベント開催等における必要な感染防止策 🔷
- ▶ イベント終了後、1か月以内を目途に、イベント結果報告フォームを提出してください。
  - [別紙3]イベント結果報告フォーム

提出窓口

香川県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

メールアドレス kenkosomu@pref.kagawa.lg.jp

電話番号 087-832-3335

住所 〒760-8570 香川県高松市番町4丁目1番10号 健康福祉部健康福祉総務課

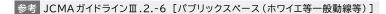
# 会場内エリア別の感染症対策

会期中は、事前に策定した方針に基づき、あらゆる場所や場面において方針を遵守し、適切な対策を講じます。以下に MICE開催の主要な対策を、場所ごとに示します。

参考 JCCB ガイドライン5. (2) ② 2) 開催期間中

### 共有スペース【主催者・運営関係者・施設関係者】

- ▶ プログラム終了後の一斉退室時など、ホワイエやトイレ等の共有スペースは混雑が予想されます。プログラム時間をずらし、参加者の共有スペースの利用機会を分散させる等、適切な措置を講じます。
- ▶ 参加者が多く往来する共有スペースに、感染拡大防止に関する協力依頼事項をデジタルサイネージ等に掲示し、注意喚起を行います。





### 受付【主催者・運営関係者・施設関係者・出展者・参加者】

#### 参加登録方法【主催者・運営関係者・参加者】

- ▶ 混雑が予想される受付時においては、ICTを活用した非接触受付の推進や、受付時間を拡大して参加者の受付待機時間を減少させる等の対策を講じます。
- ▶ 通常の受付のほか、参加者の連絡先シートや健康状態報告用紙等の体調管理状況を提出するための動線を設けます。

参考 JCMAガイドラインⅢ.2.-1 [参加登録受付] (8)、(10)

#### 検温、体調の確認【主催者・運営関係者・出展者・参加者】

▶ サーモグラフィーや非接触型体温計等のICTを活用し、参加者のほか、講演者含む催事関係者全員の検温を実施し、 発熱が認められた場合は、事前に策定した方針を遵守した対策を講じます。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-1 [参加登録受付](3)~(5)

### ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用依頼【主催者・運営関係者・出展者・施設関係者】

- ▶ プログラム構成を工夫し、入場・来場・退出のタイミングに応じた3密回避の対策を講じます。
- ▶ 待機列が想定される場所においては、入場制限を設けるほか、フロアマーカー等の使用やスタッフ配置による誘導を 行い、参加者の適切な誘導を実施します。
- ▶ マスク未着用者の方へ着用依頼を行います。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-1 [参加登録受付](2)、(9)

#### 接触感染・飛沫感染リスクの管理【主催者・運営関係者・出展者】

- ▶ 二次元コードによる受付やキャッシュレス決済の導入等の非接触型受付を推進します。
- ▶ 運営関係者のマスク、手袋、フェイスシールド等の着用のほか、適切な間隔を確保した要員の配置を徹底します。
- ▶ アクリル板、ビニールカーテンなどの飛散防止用の遮蔽物を設置します。
- ▶ コングレスバック、パンフレット等は手渡しを避け、カウンターに配置するなど、参加者ご自身でお取りいただく案内を 行います。また紙媒体は可能な限り電子化を導入します。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-1 [参加登録受付](7)、(11)、(12)、(14)

### クローク【主催者・運営関係者・施設関係者】

- ▶ 手荷物の自己管理を推奨します。
- ▶ クロークを設置しない場合は、参加者に事前に周知を行います。
- ▶ クロークスタッフは手袋、フェイスシールド等を着用するとともに、こまめなアルコール 消毒や手洗いを行います。
- ▶ クロークを設置する場合は、アクリル板やビニールカーテンの設置を検討します。

参考 JCMAガイドラインⅢ.2.-2 [クローク]



### セッション (講演) 会場 【主催者・運営関係者・施設関係者】

#### 3密回避策

- ▶ 事前参加人数を把握のうえ、入場制限等の対策を講じるとともに、参加人数に応じて中継会場の設置も検討します。
- ▶ 入退場口の区分けをし、参加者の入れ替え時に入退場者が入り乱れて混在しないよう適切に動線を敷くとともに、会場内に明示して周知を徹底します。
- ▶ 機械換気と入退場口開放による会場内の換気を実施します。
  - 開催施設の構造により十分な換気が困難な場合は、換気のための機器 (サーキュレーター等) を設置する等の対策 を検討する
  - 扉の開放に伴い、廊下、ロビーなどのセッション会場周辺は静粛な状態を維持するよう案内する
  - ◆冬期等の施設内の温度が低い環境においては、適切な室内環境(温度・湿度等)を維持しつつ、十分な換気を行うよう留意する

#### 感染リスク減少対策

- ▶ パネルディスカッション時 (リハーサル時等の催物開催前も含む) などの講演者間、講演者と参加者間のソーシャルディスタンスを確保するとともに、必要に応じてアクリル板を設置します。
- ▶ マイクなどの共有物の頻繁な消毒・交換、フロアとの質疑応答ではチャットシステム等のICT導入を検討します。
- ▶ スマートフォン・タブレットによる同時通訳システムを活用し、レシーバー等の共用物の使い回しを避けます。
- ▶ 会場入口や通路、共有部に消毒液を設置します。
- ▶ セッション開始前にスクリーンを活用して、参加者に対する感染防止策等の周知・広報を行います。

#### 参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-3 [セッション会場]

### 展示会場【主催者・運営関係者・施設関係者・出展者】

- ▶ 会場内の混雑状況を把握し、ソーシャルディスタンスが十分に確保できないと判断される場合には、入場制限を実施します。
- ▶ 動線に配慮し、ゆとりをもったレイアウトを考案します。
- ▶ 展示物や商談スペースの消毒等、接触感染防止策を出展者へ依頼します。
- ▶ 資料の手渡しは避け、カウンター等に設置、もしくは資料のデジタル化を検討します。使用する端末はこまめな消毒を依頼します。
- ▶ 参加者と出展者双方に正しいマスクの着用を喚起します。 また、フェイスシールド着用等の検討を依頼します。
- 参加者への飲食物の提供は極力回避します。 ※提供する場合は同ページ「パーティ・レセプション会場」をご参照ください。
- ▶ 出展者証の使いまわしを避け、毎日新しいものを配布することを検討します。

参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-4 [併催展示会]

### パーティ・レセプション会場【主催者・運営関係者・施設関係者】

- ▶ 立食ではなく、着席形式の実施を検討します。
- ▶ 3密回避を考慮した机や椅子のレイアウトを調整します。
  - テーブル間の距離の確保
  - テーブルあたりの着席人数 (ソーシャルディスタンス確保)
  - 座席は斜め向かいの配置 (アクリル板等を配置する)
- ▶ アナウンスやスクリーンで食事中以外のマスクの着用を周知します。
- ▶ 地元の食材をパッケージした食事や弁当等を提供します。なお、提供は手渡しではなく、事前に座席に置いておく方策を実施します。
- ▶ 休憩時間中のパブリックスペース等における飲食の禁止など、飲食用に感染防止対策を講じているエリア以外の飲食を制限します。
- ▶ 開催時間の短縮や屋外の活用を検討します。
- 参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-5 [食事会場]

参考 JCCB ガイドライン5. (2) ② 2) 開催期間中

# 同時通訳と感染症対策【主催者・運営関係者・施設関係者・参加者】

海外からの参加者を伴う国際会議では、同時通訳の実施は必要不可欠です。

2016年G7香川・高松情報通信大臣会合などの大型国際会議の開催実績があるかがわ国際会議場では、以下のような対策に取り組んでいます。

- ▶ 接触・飛沫感染防止対策に適したブースで区切られた同時通訳システムが設置されています。
- ▶ 同時通訳ブースにて、セッション後や一日の終わりに必ずマイクや机の消毒を徹底しています。

POINT

同時通訳ブースの通訳士によって他言語に変換された講演やパネルディスカッションの通訳音声を、参加者がお持ちのレシーバーに流すことができる同時通訳システムをかがわ国際会議場は導入しています。



# 運営関係者の安全管理【主催者・運営関係者・施設関係者】

- ▶ 関係者全員にオリエンテーションでの感染防止対策 (マスクの着用、こまめな手洗い、手指消毒等) について十分な説明を 実施します。
- ▶ 毎朝の検温の義務付けをします。
- ▶ 発熱症状や体調がすぐれない場合は自宅待機するよう徹底します。
- ▶ スタッフが急遽欠席した場合のバックアップ体制を構築します。

参考 JCMA ガイドライン IV. 運営関係者の安全



運営関係者には、各種ディレクター、アルバイトスタッフ、音響・照明・映像関連オペレーター、施工要員、開催施設要員等が含まれます。日ごとに要員が入れ替わる場合も想定されるため、主催者・運営関係者の各自の体調管理を徹底するとともに、連絡・意思決定ルートに準じた有事の際の迅速な対応等、安心・安全な開催を確実に実施できる体制の構築に努めます。

# 開催施設への依頼事項【主催者・施設関係者】

清掃作業を行う際に、鼻水、唾液等が付着したゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛るように依頼します。作業員は、マスクや手袋を着用のうえゴミを回収し、作業後マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いを実施します。

参考 JCMAガイドラインV.開催施設への依頼事項

# 有事対応

参加者、運営関係者に感染の疑いが発生した場合に備え、開催施設と相談したうえで必要な体制を事前に構築し、「指定救護室の設置や必要な備品の準備等」対応手順についてマニュアル化しておくことが重要です。

### 参加者や運営関係者が感染を疑われる症状を示した場合

- ① 速やかに受付付近に設置した隔離スペースもしくは指定救護室へ隔離▶ 隔離場所へ案内し、「入室禁止」の張り紙を掲示
- 2 スタッフはマスクや手袋、フェイスシールド着用のうえ、距離をとって対応する可能であればガウンを着用
- 3 迅速に医療機関や管轄保健所へ連絡し、指示に従って対処

保健所名	電話番号	FAX 番号	所管の市町		
香川県小豆保健所	0879-62-1373	0879-62-1384	土庄町、小豆島町		
香川県東讃保健所	0879-29-8261	0879-42-5881	さぬき市、東かがわ市、三木町、直島町		
香川県中讃保健所	0877-24-9962	0877-24-8341	丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、 綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町		
香川県西讃保健所	0875-25-2052	0875-25-6320	観音寺市、三豊市		
高松市保健所(外部サイトヘリンク)	087-839-2870	087-813-0221	高松市		

- ◆ 参加者の症状 (37.5度以上の発熱など) によっては、帰宅を促す▶ 主催責任者ないし運営担当責任者等から説明
- 5 対応の前後における手洗いの徹底
- 参考 JCMA ガイドラインⅢ.2.-7 [有事対応]



# VI 会期後の対応

# 連絡手段の確保と保管

来場者の新型コロナウイルス感染が会期後に認められた場合に備え、参加者や運営関係者に報告や情報共有ができるよう、参加者リストなどを以下の基準に従って扱います。

- ▶ 個人情報は必要に応じて医療機関や保健所に提供できるよう、適切に保管
- ▶ 会期から1か月程度経過した場合、個人情報の取扱い基準に沿って、適切に廃棄

参考 JCMA ガイドラインⅢ.3 会期後

# 会期後に来場者の感染が発覚した場合の対応

### 来場者への情報発信

保健所などの公的機関と相談し、感染者と濃厚接触した可能性のある参加者へ情報を共有します。感染が疑われる症状が発生した場合には、医師による診察を受けるように案内します。

### 公的機関への情報共有

来場者に感染の疑いが発生した場合、迅速に保健所などの公的機関に報告します。 さらなる感染拡大を防ぐため、保健所等の公的機関によるヒアリングに協力し、必要な情報を共有します。



参考 JCMAガイドラインⅢ.3 会期後

参考 JCCB ガイドライン.5(2)②3) 開催後

- 発熱などの症状がある方の受診について 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する情報 🜓
- 香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター 0570-087-550(土・日・祝日を含む毎日24時間)

# VII 様式集

# 主催者向け確認シート

本ガイドラインに基づいた安心・安全なMICE開催において、「会期前」 「会期中」「会期後」に主催者の皆様にご留意いただきたい項目を確認 シートにいたしました。ご活用ください。



#### 主催者向け確認シート □ 役割分担の明確化 P7 主催者、運営関係者、施設関係者などの役割分担の明確化 P7 中止、延期や開催形態変更などの基準の策定など □ 意思決定ポイント □ 有事対応への備え P7 感染者が発生した場合の対応(マニュアル化) P7 現地参加者のオンライン参加登録の推奨など □ 運営関係者への 事前説明 P7 すべての関係者に感染防止対策について説明 □ 情報発信 P8 基本的な感染症対策の周知、事前参加登録等の実施 □ 接触確認アプリ COCOA P8 参加者に接触感染アプリCOCOA活用の周知 P9 参加者が1,000人を超える催物又は全国的・広域的な移動を伴う催物については、県に事前相談 P10 参加者の共有スペースの利用機会を分散、デジタルサイネージ等の活用など □ 共有スペース P10 参加登録方法※<u>連絡先シート</u>・配布、検温の確認、適切な人員配置(大声を出す方への対応)、感染リスクの管理など □ 受付 P11 手荷物の自己管理の推奨、感染症対策グッズの配備など □ セッション(講演) 会場 P11 3窓回避策、適切な人員配置(大声を出す方への対応)、感染リスク減少対策のア ナウンスやスクリーン投影による注意喚起 P12 適切な人員配置(大声を出す方への対応)、適切なレイアウト、出展者への接触 感染防止依頼、料飲提供の制限(禁止)など □ 展示会場

# 参加者向け確認シート

安心・安全なMICE開催に際しては、参加者の皆様の協力は必要不可欠です。大声での会話自粛や手洗い・うがいの徹底など、参加いただく際の注意事項を確認シートにいたしました。主催者の皆様は本確認シートを参加者にご案内ください。



#### 参加者向け確認シート □ 情報確認 直行直帰を心掛ける、大声を伴う会話の自粛、マスク着用、ICカードやキャッシュレス 決済の積極的な利用、こまめな手洗い・うがい、消毒の徹底 □ 移動 接触確認アプリCOCOAのインストール ※インストール未実施の方は、下記二次元コードよりダウンロードもしくはApp Store またはGoogle Playで「接触確認アプリ」で検索してインストールをお願いいたします。 □ 接触確認アプリ COCOA App Store □ 体調·検温確認 毎朝の検温の実施、体調管理 □ マスク着用 飲食時を除き、マスク着用の徹底 □ 三密の回避 三密が起こりやすい環境の回避、ソーシャルディスタンスを意識 □ 手洗い・うがい、消毒 こまめな手洗い・うがいや消毒、新しい生活様式 ()に基づく行動の徹底 発声が想定される場合の飲食の回避、食事時間の短縮、過度な飲酒の自粛、感染リスク が高まる「5つの場面」、いこ気をつける 会期中の外食時は、かかの安心飲食店」、の利用 は ●の利用 毎朝の検温の実施、37.5度以上の発熱の場合などの来場自粛基準の順守 参加山に自主した。強いだるた。高数等の症状が認われた場合の下記連絡2

# 連絡先シート

有事の場合に保健所など公的機関との情報共有は、安心・安全な MICE開催において必要不可欠です。運営関係者や施設関係者と連 携し、こちらの連絡先シートを事前送付もしくは受付等で参加者に記入 いただいてください。



#世コロナウイルス哪級自然大防止のため、郵発者が発生した際などに、事務局より連絡する 総合があります。また保健所等の公外機関による間を取りに協力し、必要な情報共有を行う場 がたています。 で大いに連絡制理配金連絡先として、下記にご記入をお願いいたします。 ご未期日 年 月 日 ご未期時間 時 分切 フリガナ ご氏名 電話曲号 (無道総がつきやすい電話番号をご記入ください。) 所属 ご提出先: O月O日【会場名】【受付】にてご提出ください。 なお、お預かりした個人情報は〇〇〇学会事務局にて厳重に管理し、上記と 外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から〇〇日(もしくは〇退 間)経過後、責任を持って廃棄いたします。		ì	車終	先言	乙	のお願い		
フリガナ ご氏名 電話番号 (強連絡がつきやすい電話番号をご記入ください。) E-mail (採日常的にご確認されるメールアドレスをご記入ください。) 所属  ご提出先: O月〇日[会場名] (受付) にてご提出ください。 なお、お預かりした個人情報は〇〇〇学会事務局にて厳重に管理し、上記以外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から〇〇日(もしくは〇辺	易合がありま 合がございま	す。また( す。	保健所等(	の公的機	別による[	聞き取りに協力し、必要な		
正氏名 電話番号 (非連絡がつきやすい電話番号をご記入ください。)  E-mail (採日常的にご確認されるメールアドレスをご記入ください。)  所属   ご提出先: ○月〇日[会場名] (受付) にてご提出ください。  なお、お預かりした個人情報は○○○学会事務局にて厳重に管理し、上記以外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から○○日(もしくは○遅	ご来場日		年	月	В	ご来場時間	時	分頃
(海道部からキャナル電話番号をご記入ください。)  E-mail (採日常的にご確認されるメールアドレスをご記入ください。)  所談  ご提出先: O月〇日[会場名] (受付) にてご提出ください。  なお、お預かりた個人情報は〇〇〇学会事務局にて厳重に管理し、上記以外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から〇〇日(もしくは〇辺	. , ,							
(後日常的にご確認されるメールアドレスをご記入ください。) 所属  ご提出先: ○月〇日【会場名】(受付)にてご提出(ださい。 なお、お預かりした個人情報は○○○学会事務局にて厳重に管理し、上記以外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から○○日(もしくは○退	電話番号	(※連	絡がつき	やすい電	話番号を	ご記入ください。)		
ご提出先: ○月〇日【会場名】 (受付) にてご提出ぐださい。 なお、お預かりした個人情報は○○○学会事務局にて厳重に管理し、上記じ 外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から○○日(もしくは○近	E-mail	(※日	常的にご	確認され	るメール	アドレスをご記入くだ	ž v₃)	
なお、お預かりした個人情報は〇〇〇学会事務局にて厳重に管理し、上記以外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から〇〇日(もしくは〇連	所属							
外の目的には使用いたしません。本紙は会期終了から〇〇日(もしくは〇週	ご提出先	: 0月	0日[설	≷場名】	(受付	)にてご提出ください	١,٥	
	なお、お預	負かりした	を個人付	青報は(	000:	学会事務局にて厳	重に管理し、	上記以
間) 経過後、責任を持って廃棄いたします。	外の目的	には使	用いた	しません	。本紙	は会期終了からO	0日(もしく	は〇週
	間)経過	後、責	任を持:	て廃棄	いたしま	<b>.</b>		

# **Ш** デジタル × 香川県

# 会議場やユニークベニューのバーチャル映像

主催者の皆様に施設の雰囲気や位置関係を体感いただけるよう、360°カメラを活用したバーチャル映像を制作しています。 会議場から美しい瀬戸内海を望める「かがわ国際会議場」や多彩な公演、多様なコンベンションに対応した多機能な「サン ポートホール高松」のほか、特別名勝栗林公園 商工奨励館や玉藻公園 披雲閣など、国内外の参加者にも喜ばれるユニーク ベニューのバーチャル映像をご覧いただくことができます。

**こちら** にて以下の施設をご紹介しています。

- ▶ かがわ国際会議場
- ▶ 玉藻公園 披雲閣
- ▶ サンポートホール高松
- ▶ 特別名勝栗林公園 商工奨励館
- ▶ JRホテルクレメント高松
- ▶ 四国水族館







玉藻公園 披雲閣

特別名勝栗林公園 商工奨励館



かがわ国際会議場

# かがわデジタル化推進戦略

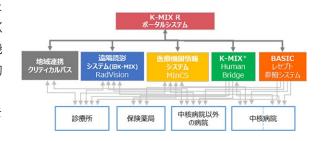
香川県では「かがわデジタル化推進戦略」を策定し、安心・便利・豊かな、人が主役のデジタル社会の形成を目指して、生 活・産業・行政のあらゆる分野におけるデジタル化に関する取り組みを実施しています。MICEにおいてもデジタル化は、 学術振興やイノベーション創出などMICE開催効果の促進につながります。国内に先駆けて取り組んでいるかがわ医療情報 ネットワーク「K-MIX R」

は将来に向けての構想・戦略の一つです。

#### K-MIX R



2021年度より、長年、香川県の医療情報共有を支えてきた K-MIXやK-MIX+などを統合、刷新し、新たなシステム「K-MIX R」として運用を開始しました。K-MIX Rは、右図のように5つの機 能で構成され「かがわ医療情報ネットワーク協議会」によって一元的 に運用されます。K-MIX Rは、最先端のデジタル技術を駆使して、 県内の医療関連施設をネットワークで接続し、お互いの医療情報を 共有することで、質の高い医療サービスの提供を目指しています。



#### K-MIX R BASIC

K-MIX R BASIC (以下BASIC) は、診療報酬請求書 (レセプト) 情報を臨床現場で閲覧で きる全国初の仕組みで、K-MIX Rの一機能として提供されます。 レセプトは保険診療では 必ず作成されるため、BASICには極めて高い悉皆性があります。 BASICカード(右図)を 診察室で医師に提示することで、自分のレセプトを簡単に医師に示すことができます。 医師 はBASICを使うことで患者の通院しているすべての医療機関での病名や投薬情報などを迅 速かつ正確に把握でき、医療の精度を高め、無駄を省くことができます。 また新型コロナウ イルス感染症の重症化リスクの評価にも有効であり、新型コロナウイルス診療・検査外来での 活用も進んでいます。

K-MIX Rのロゴ、K-MIX R BASICカードは、香川県立高松工芸高等学校の学生によるデザインです。



# IX 県内MICE関連施設の感染症対策

# 国際的な衛生認証取得の MICE 施設

香川県の主要なMICE施設では、「GBAC STAR™認証」や「Safeguard認証」など国際的な公的機関管轄の衛生認証の取得を進めています。 国際水準を満たす県内施設で、安心・安全なMICEを開催ください。

## かがわ国際会議場・展示場

### ~「G7開催の国際会議場」がGBAC STAR™認証を取得~

2016年「G7香川・高松情報通信大臣会合」が開催されたかがわ国際会議場が2021年9月にGBAC STAR™認証を取得しました。同施設はスクール配置(180席)、馬蹄配置(90席)、シアター配置(300席)等、会議の内容や規模に応じた多様な会議設営が可能で、近隣コンベンション施設と連携することで3,000人規模の会議に対応可能です。国際水準の感染症対策として評価の高い同認証制度の取得により、MICE開催におけるさらなる安心・安全を提供します。



#### GBAC STAR™認証とは?

世界的な洗浄業界団体International Sanitary Supply Association (ISSA)にて洗浄、消毒および感染症予防のプロトコールを実施する施設の運営基準を提唱している部門、Global Biorisk Advisory Council (GBAC)による国際的認証プログラム。かがわ国際会議場はGBAC STAR™認証を取得しています。



# レクザムホール (香川県県民ホール)

### ~劇場型施設として国内初のSafeguard認証を取得~

Safeguard認証を、国内の劇場施設として初めてレクザムホール(香川県県民ホール)が取得しました。同施設は、香川県内最大級の劇場施設で、2,001名収容可能な大ホールのほか、多目的に使用可能な小ホール、大中小の会議室を有し、多様な規模・用途に応じたMICEの開催が可能です。国内でも先行し、国際的な衛生基準をクリアする同施設では、主催者・参加者ともに安心してご利用いただけます。



#### Safeguard認証

世界最大級の試験・検査・認証機関であるビューローベリタスが2020年4月に新設した検証サービス (RESTART YOUR BUSINESS WITH BV) で、感染予防策、安全・衛生基準に対し、その運用を書類や現場検証等を経て発行しています。

上記基準は、WHO (世界保健機関)、ILO (国際労働機関)などのガイドライン等を基にビューローベリタスが策定したものです。 県内ではレクザムホール (香川県県民ホール)が、施設の感染予防・安全策を評価され認証取得しています。



# IX 県内MICE関連施設の感染症対策

# 安心感と心地よさを提供する宿泊施設

移動による参加者の疲労と感染拡大に対する不安を軽減することは宿泊施設の役割の一つです。香川県ならではの居心地の良さを与える県内宿泊施設は徹底した感染症対策を実施していますので、安心してご利用いただけます。

### JRホテルクレメント高松

### ~コンベンションエリア内にある瀬戸内の島々や高松市街が一望できるシティホテル~

JRホテルクレメント高松は、MICE主要施設が連なるコンベンションエリア「サンポート高松」に位置しています。 かがわ 国際会議場とは連絡通路にて連結しているなどアクセス抜群の宿泊施設です。 また客室や宴会場からは瀬戸内海・高松 市街を一望することができます。

スイート3室を含む総客室300室を誇り、二国間会合などの宿泊・食事に対応できます。2016年G7香川・高松情報通信大臣会合の食事会場として利用された実績もあります。業種別ガイドラインに従った感染症対策を実施していますので、安心・安全に主催者・参加者の皆様にご利用いただけます。





# リーガホテルゼスト高松

### ~伝統と実績、経験に培われたホスピタリティを体感できるシティホテル~

高松中心市街地に位置するリーガホテルゼスト高松は、 コンベンションエリア「サンポート高松」からアクセスに 至便なホテルです。

レストランでは、地元の旬の食材を多く使用した和洋 中の美食をご用意し、香川・高松の滞在を楽しんでい ただけます。

老舗ならではの伝統と実績、経験に培われたホスピタリティで、主催者・参加者の皆様をおもてなしいたします。

感染症対策はこちら●をご確認ください。







# IX 県内MICE関連施設の感染症対策

# 安心・安全で魅力的な観光・飲食

会期前後の地域ならではの体験は、参加する人々の印象に残ります。積極的な感染症対策と地域資源を活用した香川県 らしい観光・飲食をご紹介します。

### かがわ安心飲食店認証制度

香川県の代名詞とも言える「讃岐うどん」や70年以上地元 の人々に愛され続ける「骨付鳥」などの香川県が誇る豊か な食文化は、全国各地の多くの観光客に人気です。

多くの観光客が集まっても安心して飲食していただけるよ うに、香川県では感染防止対策に取り組む飲食店を認証す る「かがわ安心飲食店認証制度」を設けています。 認証さ れた飲食店には右図のステッカーをお渡ししており、幅広い ジャンルの飲食店を認証しています。

**こちら**からかがわ安心飲食認証店を検索することができ、 認証店における感染防止対策をご覧いただけます。



#### 感染防止対策の項目

▶ 来店者への感染予防: 入店・注文・支払い ▶ 施設・設備の衛生管理の徹底

▶ 来店者への感染予防: 食事・店内利用

▶ 従業員の感染症予防

▶ チェックリストの作成・公表

▶ 感染者発生に備えた対処方針

# 日本一のアーケードを誇る 高松中央商店街のキャッシュレス決済

香川県の県庁所在地である高松市の高松中央商店街は総 延長2.7kmの「日本一長いアーケード」と高さ32.2mの 「日本一高いアーケードドーム」を誇り、時空的空間をお楽 しみいただけます。8つの商店街からなる高松中央商店街 には、伝統工芸品店や地産地消の飲食店、バラエティー豊 かなお店が並んでいます。高松中央商店街ではキャッシュ レス決済の各種キャンペーンを契機として、キャッシュレス 決済を導入する店舗が増えています。キャッシュレス決済 は現金でのやりとりによる接触感染等の防止につながり、 「新しい生活様式」の実践例として挙げられます。





# ス 県内で開催された X 感染症対策を徹底した会議等事例紹介

# 第62回日本心身医学会総会ならびに学術講演会

2021年7月10日・11日に、かがわ国際会議場とサンポー トホール高松にて「心身医学の日常診療と新たなテクノロジー との融合を求めて」をテーマにした学術集会が対面形式で開催 されました。Withコロナ期において、事前参加登録やオンデ マンド配信、事前収録など参加者や関係者の安心・安全を考 慮した対策を講じることで対面での開催を実現しました。

オンライン参加者 約320名 (オンデマンド)



### 主催者の声



### 岡田 宏基 先生(宇多津病院心療内科・香川大学名誉教授)

今回の大会では、感染症対策を万全に行ったうえで、現地開催を中心に行い、後日の オンデマンド配信を組み合わせました。感染症対策としては、参加者への体温測定、受 付でのアクリルシート設置、複数の会場入口へのアルコール設置、会場のマイクやアクリ ルシートの消毒などです。会場でのマイク等の消毒は、オンデマンド配信を見ると、非 常にこまめになされていました。このように対策をすることで、大会会場が感染源にな ることなく大会を終えることができたことを大きな喜びに感じています。













# テクノロジーを駆使したハイブリッド開催

- ▶ 今大会では対面と事前収録をうまく組み合わせた運営を実施
- ▶ 事前収録は、発表映像だけでなくZoomを利用した演者間の討論映像も収録し、臨場感を演出
- ▶ オンデマンド用映像は、会場全体の雰囲気が伝わる俯瞰映像や現地会場での質疑応答場面を録画・編集し、配信

# XI SDGs× 感染症対策

# 日本一の手袋産地の地産地消 感染症対策グッズ

地域資源を活かしたMICEの開催は、文化振興や経済活性化などの多様な観点から持続可能な社会づくりに寄与します。安心・安全なMICE開催に資する香川県ならではの取り組みとして、130年以上もの歴史を持ち、国内の手袋生産量90%を占める「日本一の手袋産地」東かがわ市の手袋技術を活かした感染症対策グッズを紹介します。









### 70年以上積み重ねた技術改革による信頼の抗菌手袋

株式会社トモクニは1948年創立の地元に根付いた伝統ある手袋の総合メーカーです。創立以来積み重ねている技術 改革、時代のニーズを汲み取る情報収集力に加え、国内外のキャラクター・ブランドのライセンス商品も取り扱うなど、信 頼性の高さと多様性が魅力の製品を製造しています。

東かがわ市で洗練された、こだわりぬいた職人の技により縫製される手袋に、抗菌力が高く細菌の増殖を抑制することができる生地を使用することで、時代に合った安心・安全な抗菌手袋を制作しています。





## 世界に、MICEに、安心のあたたかさを提供する 感染症対策マスク

株式会社スワニーは「スワニーブランド」として海外プロスポーツ 選手にも愛用される高品質・高機能な製品で有名な手袋メーカー です。世界最大級のスポーツ見本市で表彰されたスポーツ手袋に 加え、世界最小の車椅子やアジア圏でも人気が高いキャリーバッ グなど、手袋製造で培った縫製技術を活用して様々な製品を展開 しています。

スワニー製のマスクは、抗菌・抗ウイルス機能を持つ素材を繊細な 縫製技術を用いて制作し、マスク内に不織布を入れることができ る立体3層構造に加工するなど安心・安全にご活用いただけます。 マスクには学会のロゴ等を入れることができるため、香川県らしい ノベルティとしての活用も有効です。





# さいごに

#### 注意事項・使用制限

▶本ガイドラインの内容は、作成時の新型コロナウイルス感染症に関する政府および業界団体等の指針を参考に作成しています。今後の感染症対策に関する最新の知見等により適宜修正・更新を行います。

#### 用語集

- ▶ MICE:企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
- ▶ ICT (Information and Communication Technology): 情報通信技術。従来から使われていた IT (Information Technology) に替わって、通信ネットワークによって情報が流通することの重要性を意識して使用される言葉。
- ▶ SDGs(Sustainable Development Goals):国連サミットで加盟国の全会一致で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。発展途上国と先進国が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。
- ▶ PCO (Professional Congress Organizer):会議運営専門会社。会議開催に係る業務、またはこれに関連して派生する一切の行事に係る業務を取り扱うための専門能力を持った会社または個人。
- ▶ デジタルサイネージ:店頭や交通機関など公共の場にある、電子化された看板やポスターなどのシステムの 総称。ネットワークに接続されており、外部から情報を配信することができるので、設置場所や時間帯によっ て適切に見せたい案内や広告を配信表示することができる。

#### 参考資料

●一般社団法人日本コンベンション協会

「新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン (第4版)」 🔾 (2021年)

● 一般社団法人日本コングレス・コンベンション・ビューロー
「コンベンション推進機関及びMICE関連事業者等における新型コロナウイルス(COVID-19)対応ガイドライン
ーWithコロナ時代の安全で衛生的なMICE開催の推進のために―(第2版)」

(2021年)

● 日本コンベンションサービス株式会社

「MICE JCSモデル ―Withコロナ社会における安全・安心なMICE開催―」 (2021年)

●鉄道連絡会

鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン第2版 🗘 (2020年)

◆公益社団法人日本バス協会

バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(第6版) (2021年)

●一般社団法人日本ホテル協会

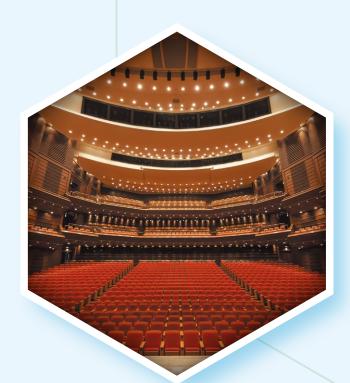
ホテル業における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン 🗘 (2020年)

- ●一般社団法人 日本フードサービス協会 / 一般社団法人 全国生活衛生同業組合中央会 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針 (改正) に基づく外食業の事業継続のためのガイドライン (2020年)
- 厚生労働省

咳エチケット 🔷

正しい手洗いの方法/正しいマスクのつけ方





香川 MICEモデル

安心 先進 感染症対策ガイドライン

かがやくけん、かがわけん。

# 香川県

香川県交流推進部交流推進課 香川県MICE誘致推進協議会 TEL:087-832-3380 E-mail:mice@kagawa-prf.jp URL:https://www.kagawa-mice.jp/ja/

高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部 観光交流課 TEL:087-839-2416 E-mail:kankou@city.takamatsu.lg.jp

発行日: 2021年12月

